

2019年9月1日

先天性心疾患があり当院で帝王切開術を受けられた患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】1982年1月1日～2019年8月31日の間に当院において、先天性心疾患をお持ちで、お産を帝王切開で行った方

【研究課題名】先天性心疾患を合併した妊婦に対する帝王切開時の麻酔方法に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 輸血管理室 部長 吉谷健司

【研究の目的】帝王切開の麻酔管理方法である全身麻酔と腰椎麻酔（脊髄くも膜下麻酔や硬膜外麻酔）のどちらが母体と胎児にとって適切であるか検討するため

【利用する診療情報】

身長、体重、分娩年月日、分娩時年齢、経産回数、経妊回数、心疾患診断名、心疾患以外の既往症、心不全重症度、妊娠時合併症、分娩週数、帝王切開に至った医学的理由、帝王切開麻酔方法、帝王切開時出血量、母体周術期死亡の有無、母体集中治療室入院期間、妊娠前・中・後の心エコー図検査、帝王切開後臓器障害、児アプガースコア（1分値、5分値、10分値）、臍帯動脈血 pH、児体重、児挿管管理の有無、児死亡の有無

【研究期間】研究許可日より2021年12月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 麻酔科 担当医師 月永晶人  
電話 06-6833-5012(代表) (内線 60249)